

平成30年12月25日

「平成30年度 第3回 阿南市在宅医療・介護連携推進会議」会議録

日時 平成30年12月20日（木）
午後7時30分から午後8時30分まで

場所 阿南市役所 6階 604会議室

内容

■ 議題1 医療サービス連携シート（案）について

平成30年度介護保険制度改正により、医療系サービスをケアプランに位置付ける場合における主治医との連携を更に強化することとされているが、医師会所属の委員からは、各介護支援専門員から依頼される様式がバラバラであるとの意見があった。

阿南市における様式の統一を目的に在宅医療・介護連携支援センターが作成した「医療サービス連携シート（案）」について、各委員の意見を伺った。

- ・主治医との連携においては、現状では主治医に直接又は訪問看護師を通して意見をいただいている。
- ・阿南市の統一様式があればぜひ利用したい。
- ・「医療サービス連携シート（案）」の導入により、医師の負担が増加するおそれはないか。
→ 医療系サービスの位置付けについてのみ意見を求めるものであり、負担は大きくないものと考えている。
- ・返送先を明記する必要がある。
- ・高齢者お世話センターの主任介護支援専門員部会において、事前にこの案について議論し、必要な内容を加味してある。
- ・担当の介護支援専門員が現時点で推定する「障がい高齢者日常生活自立度」と「認知症高齢者日常生活自立度」を記載してほしい。介護度の記載も必要。
- ・個人情報が多く含まれる内容であるため、ファックスでのやり取りは危険ではないか。
→ 病院同士の情報連携においては、病名や治療薬等が記載されたものをファックスでやり取りしている。お互い専門職同士であるので、十分注意しながら取り扱えばよいのではないかと。

現時点のまとめとして、介護支援専門員が出向き直接手渡しで依頼するのが望ましいが、各事業所の個人情報取扱規程に則って、ファックスの活用を含め適切に連携を行うこととする。

様式の案については、各委員からいただいた意見を基に修正を加えたのち医

師会所属の委員から医師会へ諮っていただくこととし、来年度からの導入を目指す。

■ 議題2 阿南市在宅サービス事業所連絡会（案）について

在宅において医療重度者への支援を行うにあたっては、様々な専門職が各専門性や役割分担を踏まえながら、チームを組んで対応する必要がある。

阿南市高齢者お世話センターでは、主任介護支援専門員部会、保健師部会、社会福祉士部会といった部会があり、職域内での情報連携を深めている。在宅サービス事業所としても、医師会や歯科医師会、薬剤師会のように、事業所同士の横のつながりを構築していく必要があるのではないか。

- ・訪問介護部会を作りたいと考えているが、他の部会ではどのような活動を行っているのか知りたい。
- ・通所介護連絡会では懇親会や勉強会を行っている。
- ・介護支援専門員部会では勉強会や食事会を開催している。

その他のサービス事業所からも、連絡会は必要だと感じているとの意見が聞かれた。

■ 議題3 阿南市医療機関関係連携情報（介護支援専門員用）の訂正箇所等について

事前に配布した「阿南市医療機関関係連携情報（介護支援専門員用）」について、各委員に訂正箇所等を確認したところ、意見なしにより原案を完成物とする。

■ 議題4 多職種連携研修会のあり方について（11月29日開催の研修会を終えての感想など）

- ・グループワークの中で、熱心な歯科衛生士の話も聞いた。研修会を通じて、歯科との連携の関心の強さを感じた。
- ・グループワークでは濃い内容の意見が聞いた。参加者名簿の配布や名札をシールで用意するなどすればよいと思う。
- ・意見交換をするグループワークは、自己紹介だけで終わってしまった。シールで名札を用意するのがよいと思う。各訪問看護事業所に声がけしたが、参加が少なかったのが残念である。
- ・訪問介護事業所の参加も少なかった。今後も多職種と繋がるためにこのような研修会は必要であると考え。研修内容についても様々な分野を取り上げていただきたい。
- ・多職種と顔の見える関係づくりができ、有意義な研修会だった。会場はもう少し広い方がよいかもしれない。

- ・講演については、基礎的な知識から大変分かりやすく説明していただいた。介護支援専門員の業務の中で生かせる内容であったと思う。グループワークでは、各専門職の立場からの意見が聞けて良かった。
- ・グループワークの時間がもっとほしかった。会場がざわざわして、同じグループ方の名前が聞き取れない場面もあった。
- ・阿南市の各専門職の熱い思いを感じることができた。会場も今回位の広さの方が、活気が感じられていいのではないかな。

90分という時間の中で、講師先生の講義は分かりやすく、休憩時間を利用して在宅での使用器具についても説明いただけた。その後のグループワークについては、時間が1人当たり1分か2分しか取れず、短かったと考えている。

今後は、時間配分や、名札（シール）、参加者名簿の配布など工夫していきたい。

■ その他

歯科医師会所属の委員から、本会議において話し合った内容や成果物なども、歯科医師会の中で共有したいので、情報提供いただきたいこと。

介護・ながいき課から、阿南市のホームページで阿南市在宅医療・介護連携推会議の会議録等の情報を公開していくこと。各職域における作業部会については、必ず組織化するようには言わないが、在宅医療・介護連携推進事業を進める上で非常に有意義であると考えていること。

以上の意見が出された。

次回開催は平成31年3月を予定している。

